

令和3年度第1回 蓮田市行政改革推進委員会会議録

招集日	令和3年7月6日(火)	
開催場所	蓮田市役所 201会議室	
開催日時	開会 令和3年7月6日(火) 午前 9時00分 閉会 令和3年7月6日(火) 午前10時55分	
出席状況 (委員)	委員長 中野君男	出席・欠席
	副委員長 清水淳彦	出席・欠席
	委員 栗原勇	出席・欠席
	委員 秦邦雄	出席・欠席
	委員 木村利男	出席・欠席
	委員 増永美代子	出席・欠席
	委員 本橋幸夫	出席・欠席
	委員 十川久子	出席・欠席
	委員 野村優	出席・欠席
	委員 酒井めぐみ	出席・欠席
出席職員 (本部長、事務局)	<p>【蓮田市行政改革推進本部】</p> <p>蓮田市長 中野 和信 副市長 新井 勉 教育長 西山 通夫 総合政策部長 山口 亨 総務部長 吉澤 正剛 環境経済部長 高崎 達也 健康福祉部長 猿田 孝二 都市整備部長 増田 吉郎 蓮田駅西口行政センター長 飛田 康裕 上下水道部長 小山 猛 会計管理者 山田 則子 消防長 新井 智 学校教育部長 増田 勝弘 生涯学習部長 新井 宏典 議会事務局長 栗原 栄 監査委員事務局長 毒島 正明</p>	<p>【事務局】</p> <p>総合政策部調整幹次長兼契約検査課長 横田修子 政策調整課長 塚本 孝 政策調整課副主幹 齋藤欣志 政策調整課主事 柏木 渉</p>
傍聴者	0名	

<p>・資料の確認</p> <p>1 開会</p> <p>2 委嘱式</p> <p>・委嘱書交付</p> <p>3 委員長挨拶</p>	<p>開会宣言</p> <p>・中野蓮田市長より秦邦雄委員に委嘱書交付。</p> <p>(中野委員長)</p> <p>皆さん、おはようございます。</p> <p>中野市長を始め、市の幹部の皆さん、大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、市長さんを筆頭に、市民の健康と安心を守るため、日々ご尽力をいただいていることに対しまして、市民の一人として、厚く感謝を申し上げるところでございます。</p> <p>お陰様で、私もワクチン接種の方を1回済ませさせていただいて、抗体が2割から3割くらいはできているところでございまして、少し安心しているところでございます。</p> <p>こうしたコロナ禍の中で、この行政改革推進委員会の中でも今回議論いたしますが、働き方や生活様式等、市民の皆様のニーズがさらに変化してきているのではないかとということがございます。また、財政的にも、私が聞くところによりますと、ここ2、3年は停滞するのではないかと危惧されているところでございます。</p> <p>そうした中では、中野市長さんを始め、蓮田市が、他の市を一步先に出るような施策を講じていく必要があるのではないかと考えております。</p> <p>いずれにしましても、このコロナ禍を乗り越って、明るい蓮田市が開けるように市の幹部の皆様のご活躍を祈念するところでございます。</p> <p>結びにあたりまして、本日秦委員さんにおいては、新任されましたけれども、私どもの任期も、7月16日までの任期で、今回がラスト会議になると思います。</p> <p>そうした中で、私どものこの任期の中での集大成ということで、今日は活発なご意見をいただき、また、建設的なご意見をいただき、より本実施計画が実りある計画になるよう、皆様方のご発言、ご指導を仰げれば、ありがたいと思っております。</p> <p>本日の会議が有意義な会議になりますように、皆様方のご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願い申し上げます。</p>
---	---

4 市長挨拶

(中野市長)

皆さんおはようございます。

中野委員長さんのご挨拶にもありましたように、このコロナ禍にありまして、また、少し天気も梅雨模様の中ではありますが、お忙しいところご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

令和3年度第1回行政改革推進委員会でございます。

会長さんのお話の通りでありまして、昨年1月からにわかにはこのコロナの感染が始まりまして、もう1年半が過ぎようとしております。

新型コロナウイルス感染症対策については、最初は受身の状態で、手洗い、消毒、マスク、あるいは公共施設の対策等、手探りで行っていましたが、ようやくここに来て、ワクチンの接種が始まりました。

いろいろ当初はお叱りを受けながらやっておりましたが、国や県の指導の下、最初75歳以上、次は65歳以上、最近では50歳以上まで段階的にワクチン、クーポン券の発送が終わりました。

なかなか表になっていないお話ですが、埼玉県の中で、蓮田市はワクチン接種の段取りが極めてよろしいということで、県の方から言われております。しかし、それに甘えることなく、1日でも早く、12歳以上の方へのワクチン供給ができるように努力してまいりたいと思っております。

話を本題に戻しますが、この行政改革は最小の経費で最大の効果を上げるといふ地方公共団体の永遠のテーマであります。新型コロナウイルス感染症対策は、会議の行い方や各種事業の推進の仕方等、この行政改革と相通ずる部分があるかと思っております。今後は、このコロナ禍を受けまして、1年の行政運営の仕方というのは、より一層問われてくるだろうと思っております。

新型コロナウイルスの解決というのは大変であります。市として、知識や先の予測を充実させ、努力していきたいと思っております。

今日は現任期中の最後の行政改革委員会となると思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(調整幹)

ありがとうございました。

それでは早速議事に入りたいと存じます。

これより、蓮田市行政改革推進委員会条例第6条第1項の規定により、「委員会の会議は委員長が議長となる」とありますので、委員長が議長となり、議事進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

・定足数の確認

(議長)

それでは、司会者のご指名でございますので、本日の議事進行をさせ

ていただきます。皆様、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

本日は委員全員の出席でございます。会議のための定足数でございますけれども、本日の委員会では全員出席でございますので、当然成立していることを皆様方にご報告申し上げます。

では、議事の「蓮田市第七次行政改革実施計画の進行管理について」を行いたいと思いますが、その前に、2年前の任命式以来でございますので、委員さんもお忘れの方、また、執行部の方も人事異動等でお変わりになっていると思いますので、自己紹介から始めさせていただきたいと思います。

資料1の名簿の順番で委員の方々のご紹介をさせていただければありがたいと考えてございます。

・委員自己紹介

(略)

・本部及び事務局職員自己紹介

(略)

・傍聴者の確認

それでは、議事に入る前に、傍聴者の有無を教えてくださいと思います。

5 議事
蓮田市第七次行政改革実施計画の進行管理について

傍聴者がいらっしゃいませんので、議事に入らせていただきます。

これより、「蓮田市第七次行政改革実施計画の進行管理について」を議題とさせていただきます。事務局より説明をお願い申し上げます。

《事務局から資料2～3について説明》

(議長)

ありがとうございました。

ただいま事務局から主要な事業の7つについて、令和2年度の実績を中心にご説明がありました。

質疑をこれから伺いたいと思います。

また、私も非常に興味深い資料でございますが、資料5「四季かおるつながり 安心 活きるまち」については、議題の終わった後、時間がありませんでしたら、説明も含めて質疑応答ができればありがたいかなということをお私としては考えております。

そんなことで、今回につきましては、議事にご参りますように、実施計画の進行管理の今の33事業についての質疑をさせていただきたいと思っております。

それでは、ご質問がある方は挙手をいただきまして、ご質問お願い申し上げます。

(栗原委員)

はい。4ページをお願いします。

駅西口再開発ビル内公益施設の設置がされましたが、選挙での期日前投票所としての機能については、計画はされているのでしょうか。

(監査委員事務局長)

はい。選挙管理委員会の事務局長でもありますので、お答えさせていただきます。

衆議院議員の任期満了が10月となっています。現在、選挙管理委員会で議論しているのですが、衆議院選挙の期日前投票は11日間ありますが、市役所で期日前投票を行っておりますので、全てではなく、5日間を考えているところでございます。

宣伝したいのですが、衆議院選挙の日がまだ決まっておられませんので、周知できない状況となっております。

以上です。

(栗原委員)

6ページをお願いします。

「市税等の納付方法を拡充」という中の令和3年度ですが、令和3年度の実施内容詳細の箇条書きとなっている部分の3つ目、「導入に高額な費用がかかる割に、利用者が少ないペイジーやクレジットカード」とありますが、高額な費用がどれくらいかかるのか、調査してあれば、ご答弁願います。

(総務部長)

クレジット決済等について費用が高くというところですが、通常、口座振替ですと、手数料が1件10円かかるところ、クレジットですと、手数料から納付金額の1%ですとか、アプリの決済方法ですと、1件57円かかるという情報は得ております。

(栗原委員)

続いて10ページと11ページの「収納率の向上」のところ、特に今回は新型コロナウイルスの関係で納税が困難な方に対しては、徴収猶予の特例制度の申請を受け付けていますということで、自ら申請するという形ならば、納税の猶予がされていると思うのですが、中にはそうした制度を知らない方もいらっしゃるかなと思います。

そういう意味で、積極的に徴収猶予の特例制度もあることの案内はさ

れているでしょうか。

(総務部長)

特例制度につきましては、納税通知書を発送する段階で、お知らせをお送りさせていただいております。

また、納付が困難な方の場合、督促状や再度通知をお送りしますので、その際に、納税者の方とご連絡を取り、状況を伺いながら、納付について相談をさせていただくというような状況でございます。

(秦委員)

37ページの31番「人事評価システムの推進」に非常に興味がありまして、「総合的に管理・活用する人事評価システムの構築を進めていきます」という内容がありますが、今できていない部分、それから最終的にこういうところを目指しているというところがあれば、教えていただきたいと思っております。

(総務部長)

現在、目標管理、勤務評定、自己申告書というような形で、人事評価を行っております。

この後の総合的な人事評価システムという部分については、給与といった部分に評価を反映させていくということを検討しております。これも県から指導を受けながら、構築に努めているところでございます。

(秦委員)

あと、それに関して達成年度といいたいまいしょうか、構築する目標年度を教えてくださいませんか。

(総務部長)

これにつきましては、できるだけ早い時期に構築したいと考えております。

(栗原委員)

先ほどの答弁についてですが、納税が困難な方については、徴収猶予の制度の案内を説明しているという理解でよろしいでしょうか。

(総務部長)

はい。最初に案内の通知を送らせていただいておりますが、実際に納付が困難な状況になっている方については、こちらからまた納税者と連絡を取りながら、納税について相談をさせていただいております。

今後も続けていきたいと考えております。

(栗原委員)

続いて15ページお願いします。

「各種使用料の見直し」というところで、令和3年度、学校施設開放の受益者負担や、黒浜西中学校の夜間照明施設云々とありますが、特に学校施設、特に体育館の開放等については、市民の皆さんの健康を維持すると体力を維持するという意味では、結構公益的な内容だと思います。

そういう意味では、現在は無料ですので、市民の健康体力維持という観点から、現在の形を続けてほしいという意見でございます。

(議長)

意見ということによろしいですね。

それではちょっと私も質問をさせていただきます。

15ページでございますけれども、令和2年度の実績の中で、箇条書きの3つ目ですが、「令和2年度は下水道事業経営戦略を策定し、・・・、使用料収入などを想定した収支試算を行いました。」とございます。

そして、令和3年度におきまして、やはり箇条書きの3つ目でございますけれども、その経営戦略に基づいて「適正な使用量の検討の基礎資料としていく予定です。」とあります。長期的な経営試算を行うということですが、これは使用料の改定を見据えた中で、令和3年度は進めていくという解釈でよろしいのでしょうか。

(上下水道部長)

下水道事業につきましては、現在公営企業化をさせていただきまして、3年目を迎えてございます。これまで一般会計の方でやっていたものを公営企業という形で、水道事業と同じように独立採算でやっていくことが将来的な目標でございます。

そういった中で、下水の処理にかかる、例えば1立方メートルの処理費では、概ね150円の料金が必要ではないかと国から案を示していただいております。

現在、蓮田市では、それより若干低い料金で、補っている状況ですので、他県、他市町村、先進市等と比較をし、再度見直し、検討を始めたところでございます。

そういった形で、経営戦略を定めたところでございまして、その中には今後将来に向けての下水道の方の今度老朽管の更新や施設の維持管理についての費用について、やはり独立採算の中で検討していかなければならないということもありますので、令和3年度の実施内容詳細に「基礎資料としていく予定」ということを明記させていただいたところでございます。

以上でございます。

(議長)

ありがとうございます。

他にございますか。

(栗原委員)

21ページ「時間外勤務手当の抑制」をお願いします。

職員の健康管理についてですが、職員の皆さんが非常に頑張っている、遅くまで働いているということで、心配なのは健康面です。職員の皆さんが健康でなければ、市民に対するサービスも弱まってしまうと思います。

令和2年度において、職員の皆さんの病気のための休暇、あるいは休職の方の人数はわかりますでしょうか。

(総務部長)

手元に資料がないのですが、確かに栗原委員がおっしゃったように、職員の健康管理は、基本的なところで大事なところです。この時間外勤務が多い部署、また、職員がいる場合には、毎月、月単位で担当の秘書課の方でデータとして上がってまいりますので、特定の職員に時間外が集中しているという状況があれば、所属長にその状況の確認をさせていただいて、業務の分散や課内全体での取り組みを考えていただくといったことで、特定の職員に業務が集中しないように心がけています。

また、時間外勤務が多い職員については、健康相談ですとか、カウンセリング等の対応もありますので、そういったことも含めて進めているところでございます。

以上です。

(議長)

では、質問する委員さんがちょっと集中してございますので、恐縮ですが、ご発言の機会を一回りさせていただこうかなというふうに思っております。清水副委員長でございますか。

(清水副委員長)

はい。それでは、先ほどクレジットカードの導入について、手数料が高いというお話がございましたが、クレジットカードでの住民票等、証明書の取得についての導入は消極的なお考えということなのでしょうか。

(総務部長)

先ほど、マイナンバーカードの交付率の説明がありましたけれども、

マイナポイント事業もあり、6月20日現在で32%の交付率、申請ベースで40%を超える状況になっています。

コンビニ交付等については、県内の状況を見ましても、半分以上の団体に利用されているという状況もありますので、コンビニ等での交付については、検討していきたいと考えております。

(清水副委員長)

やはり時代の流れの中でキャッシュレスというのは推し進めていくべきなのかなというところもありますので、1つ質問をさせていただきました。ありがとうございました。

(本橋委員)

ちょっと前に千葉県で悲惨な交通事故がありました。蓮田市でも、通学路等で、かなり危険なところがあると思います。私が住んでいる下蓮田の方でも、今コロナの関係で歩行者や走行者が増えておりますが、道路が狭くて車がすれ違えず、1度止まって、人が通り過ぎるまで待っているというような場所もございまして、大変危険だと思えます。

ただ、この間の千葉県八街市の道路のように中途半端な道路を作ると、より危険になるので、整備する場合には、かなり考えて、歩道部分をきちっと作らなければ、かえって危険になる場合もあります。通学路に関しては、特に点検をしていただいて、それを実行に移していただきたいなと思っております。

(都市整備部長)

それでは、通学路の関係で道路の拡幅に関して、少しご説明させていただきます。

蓮田南中学校から踏切の方の大通りに抜ける通りが、田んぼの中を抜ける道で狭く、車が通る際、歩行者の方が車を避けて待っているような状態ということだと思えます。

道路拡幅につきましては、地権者の方のご協力を得ながら拡幅したいのですが、ご指摘の通り、車の通りが良くなると、かえって交通量が増えてしまい、歩行者にとっては危険な状態になる可能性もあります。

一番良いのは歩道が全部作ればいいのですが、そうすると、今度は用地として相当幅の広い用地が必要となってくるということでございますので、現場の状況と、学校関係者の考え方、それから地権者の意向そういったものも踏まえながら、検討していきたいと思えます。

(本橋委員)

ありがとうございました。

農免道路についても、農免道路ですから、あんまり歩道がきちんと整

備されていないのですが、実際は、歩いたり、自転車に乗ったり、いろいろな人が通っていますので、あの辺も危険だなど思うところが結構ありますので、現地をよく見ていただいて、対策をとれるものについては、できるだけ早く対策をとっていただきたいと思います。

以上です。

(都市整備部長)

農免道路は規制により大型車については入ってこないようにはなっているのですが、たしかに交通量が多く、乗用車がかなり朝晩スピード出している状況もございます。

歩行者が安全に歩けるように、よく現場を見ながら、検討させていただきたいと思います。

(十川委員)

ワクチン接種について、電話が通じないという状況も聞き、心配していたのですが、今日の市長のお話で、ワクチンの接種の段取りがよいということもありましたので、安心しております。今後ともよろしく願います。

(野村委員)

1点だけご質問させてください。

9ページ「収入確保策の推進」ですが、ふるさと納税についてお聞きしたいと思います。

令和元年度から2年度に向けての収入が、550万ぐらい減っております。この理由をお聞かせください。

また、ふるさと納税の返礼品について、他市町村は60～70品目以上ある一方で、蓮田市は33品目ぐらいしかないのですが、返礼品については、どういった段取りで決めているのでしょうか。

(総合政策部長)

まず、令和元年度と令和2年度におけるふるさと納税の金額の比較についてですが、令和元年度は9,249千円、令和2年度は3,772千円となっております。こちらにつきましては、令和元年度までについては、実際にふるさと納税として寄付をいただいた金額の数字を載せておきまして、令和2年度につきましては、寄附をいただいた金額から返礼品や事務経費を除いた部分を記載しております。

この実績というのは、財政効果となっておりますので、経費を除いた利益の部分を記載しなければなりません。昨年度までは、そこを考えずに、実際に寄付をいただいた金額しか記載がしていませんでしたが、今年度からは、経費を入れたために、数字が大きく下がったように見え

るものでございます。実際に、収入そのものも下がってはいるのですが、大幅に下がったのは、経費を除いたことが大きな理由でございます。

それから、返礼品の選定についてですが、基本的に返礼品は、蓮田市内で作られたものが、返礼品として認められる内容になっております。蓮田市内で作られている主なものとする、お米や梨、酒、キウイフルーツの加工品がでございます。様々なものが市内で作られて消費されておりますが、いつ注文が来ても、その通りに返礼しなければならず、季節性のものに関しては、どうしても一定期間しか返戻できませんので、なかなか難しいところがございます。

担当課としては、返礼品の種類が増えるように地域の中で、お声がけをさせていただいて、少しでも返礼品が増えるように努力しているところでございます。

また、実際にふるさと納税のサイトについては、「ふるさとチョイス」というところで蓮田市の返礼品に取り扱いをしているのですが、新たに「さとふる」というふるさと納税のインターネットサイトでも取り扱いをしていただけるように調整を図っているところでございます。

以上です。

(野村委員)

業者等に募集はされているのでしょうか。

(総合政策部長)

はい。募集をさせていただいておりますし、逆に募集がなくても、職員が市内を回り、返礼品として登録いただけないかとお話をさせていただいているところでございます。

(酒井委員)

公民館や環境学習館等の公共施設の使用についての意見です。

コロナ禍で、テレワークが私の周りにも増えてきて、今まで家で出来ていたことが、出来なくなってしまったという声を聞きます。

その際、市の公共施設、例えば会議室のような少し広い部屋等を個人的、あるいは少人数へ貸与していただくとありがたいと思います。

公民館では、5人以上の団体でなければ使用できないとか、定期的の使用でなければならぬ等、条件があるので、市民であれば使えるような場所ができるといいなと思いました。

よろしく申し上げます。

(生涯学習部長)

公民館につきましては、登録利用団体にお貸ししているような状況でございますが、ハストピアについては、個人でも利用できるような状況

でございますので、少し駅から遠く、ご不便をおかけしますが、対応できるかと思えます。

テレワークになりますと、長時間に渡ることもあると思えます。現状では、感染症対策のため、例えば公民館では3時間までしか利用できない等の利用制限があり、現状ではすぐというわけにはいかないのですが、ハストピアの会議室であれば、多少融通が利くのではないかと考えております。

(酒井委員)

今度、環境学習館が新しくなるということも聞いているのですが、そこでも融通が利くような、借りることができるような部屋があるといいなと思っております。

(議長)

そうですね、非常に重要なことでございます。

そうすると、環境整備も必要ですね。Wi-Fiが整ってないといけないとか。

(酒井委員)

どちらかというテレワークの人というより、テレワークになってしまって、居場所がなくなった家族や外に出たい人が、時間制限があるにしても、簡単に借りることができる場所があると助かるなと思っております。

(環境経済部長)

環境学習館のお話が出ましたので、少しそれについて述べさせていただきたいのですが、資料5「四季かおる つながり 安心 活きるまちの実現に向けて」の23ページに環境学習館等についての記載がございます。

現在の環境学習館につきましては、平屋建ての施設となっておりますが、部屋が一つしかなく、利用者の方に大変ご不便おかけしております。

この後、新たな環境学習館を整備してまいります。現在、環境学習館建設等検討委員会という組織を設けまして、地域の関係者や学校、黒浜中学校、黒浜小学校、保育園、また、福祉施設が近くにありますので、そういった方を委員として、意見をお聞きしながら施設の建設に向けて進めております。ご希望に沿えるか分かりませんが、今酒井委員からいただきましたご意見も、検討材料にさせていただきたいと思えます。

なお、23ページの下にございますが、青塗りにしてあるところが、令和2年度に買収が済んだところ、その右隣にあるのが、令和元年度に買収が済んだところとなっております。現在の敷地からかなり敷地が拡大されます。

現在は平屋建てですが、新たな環境学習館は、2階建てを予定しており、また、駐車場もバスが入れるような、現在よりも大きいものを考えております。施設の周りにも遊具を設置する予定です。

そういったことも含めて、皆さんがより使いやすい施設内容に整備していきたいと考えております。

以上でございます。

(蓮田駅西口行政センター長)

資料5「四季かおる つながり 安心 活きるまちの実現に向けて」の3ページに行政センターの配置図が載っておりまして、真ん中辺りにオープンギャラリーというものがございます。そこには、ソファや8人掛けのテーブル、1人掛けのカウンターテーブル等が配置されております。書道や絵画を展示するため、貸し出していることがあります。通常は自由にお使いいただけるスペースとなっております。また、フリーのWi-Fiもありますので、ぜひご利用いただければと思います。

以上でございます。

(議長)

はい。ありがとうございました。

(増永委員)

資料3の4ページ「西口開発ビル内公益施設の設置」についてです。

今、蓮田駅西口行政センターを利用してくださいというお話がありました。私もそれほど遠くはないので、少し伺ったことがあるのですが、まだまだ知られていないせいか、だいぶ閑散としておりました。

その中で、子供のためのプレックス・キッズという施設がありまして、そこには、ボーネルンド社のおもちゃがありました。その会社は、子供の遊び場、遊具について大変研究し、評価されている会社だということで、良いものが入っているのだなと私も感心しました。

まだ知られていないことやコロナ禍ということもありますので、利用者数は少ないのかと思いますが、駅からも近く、良いものができましたので、ぜひ利用してほしいなというふうに思います。

また、行政センター内には、地域包括支援センターができていますが、こちらには元気村の職員が入っていて、いろいろな相談を受けてはいるものの、その際、市に繋いで解決を図ることが多いと思います。

ですので、普段から市の職員の方も行政センター内に配置するということはできないのかなというふうに思いました。

行政センターは土日も空いているので、職員も配置していた方が、より利用していきたいと思える形になるのではないかと思います。

子育てサポートコーナーについては、市の職員だと思いますが、プレ

ックス・キッズとか、一時預かり施設は、委託されているということなので、難しいのかもしれませんが、職員の配置や連携面について、もっと良くならないのかと思いました。いかがでしょうか。

(生涯学習部長)

西口行政センターのプレックス・キッズについては、委員さんが先ほどおっしゃっていたボーネルンドの遊具がある子育てひろばです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前4組、午後4組の予約制で実施しているような状況でございます。もし予約制でなければ、もっと利用者が多いのですが、これまでの4月から5月の利用者を集計した結果を見ますと、1か月あたり450人前後利用されているということで、ほぼ予約はいっぱいのような状況でございます。

運営につきましては、先ほど委員さんがおっしゃっていた通り、子育てひろばと一時預かりにつきましては、委託で行っておりまして、その他のファミリー・サポート・センター、それから子育て世代包括支援センターは市が直営で運営している施設でございます。

それを全体的に取り持つ子育てコンシェルジュは、保育士の資格を持った職員3人がローテーションで配置されています。その職員が4つの施設をうまく取り持ちながら運営している所でございます。

また、各施設の職員の交流を図るため、毎月定期的に会議を行い、情報交換を行っておりますが、まだ4月から始まったばかりということもあり、職員間で意見がかみ合わなかったりすることはございますが、今後、改善しながら、より良い運営にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(健康福祉部長)

地域包括支援センターのご質問がございましたので、報告をさせていただきます。

地域包括支援センターにつきましては、昨年度までは、黒浜地区と蓮田地区を所管し、蓮田市直営である蓮田市地域包括支援センターと社会福祉法人に委託した閩戸平野地域包括支援センターの2ヶ所を運営しておりました。

しかし、本来は3ヶ所に地域包括支援センターを設けるという形になっておりますので、今年度から蓮田地域包括支援センターとしまして、行政センター内に地域包括支援センターを委託の形で設置したものでございます。

蓮田地域包括支援センターにつきましては、4月、5月で105件ご相談に来ていただいております。ご本人、ご家族のご相談が62件、民生委員さんですとか、ケアマネージャーさん等の関係者からのご相談が43件です。

まだまだこれから周知の必要があると思いますが、皆様のお近くに地域包括支援センターができたということ、また、駅に近いということもありますので、これから利用をしていただければと思います。

また、地域包括支援センターと市との連携についてですが、こちらにつきましては、市の直営の地域包括支援センターと、委託先の地域包括支援センターとで、毎月協議を行っております。

また、地域包括支援センターから何か必要があれば、その際に、市のところへ連絡等も来るようになっております。今後ますます、連携の方は強化をしていき、スムーズな運営に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

(木村委員)

私からは、先ほどの時間外勤務手当のお話についてです。

私どもも企業ですので、同じような取組をさせていただいておりますが、やはりどうしてもこの時間外勤務の抑制、過重労働管理、健康管理というのは、必ずバランスよく進めないと、上手くいかないと思っております。

先ほど、カウンセリングと健康相談制度があるというお話がありましたが、引き続き、よく注視していただいて、バランス良く取り組んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(秦委員)

資料2の26ページ「職員提案制度の充実」ですが、提案件数が少ないという印象です。

やはり職員の方が一番自分の行っている業務の中で、柔軟な発想を持って改善を心がけていく、発案をするということは非常に大事だと思います。

そういう意味で、インセンティブがないのかなあと。例えば賞状、市長賞、そういうのがあってもいいのかなと思います。

内部から提案がどんどん湧き出るような形、そういう仕組み作りについてはいかがでしょうか。

(総合政策部長)

貴重なご提案ですが、昨年度は本当に件数が少なかったということでございまして、今年度につきましては、全ての新採用職員に、提案制度に基づいて提案していただくように話をしているところでございます。

役所に入って一定期間は「何でこういうことをするのだろう。」と色々な気付きがございまして。そういった気付きから、様々な課題をあぶり出して、提案制度と結びつけていきたいということで、新採用職員を

中心に、今回は提案していただくように図っているところでございます。

(栗原委員)

資料2の36ページをお願いします。

「多様な雇用形態による職員の任用」という実施項目の中の会計年度任用職員についてです。

正規の職員と同じように働いている会計任用職員という方いらっしゃると思いますが、そういう方の正職員化についての検討というのはされているのでしょうか。

(総務部長)

以前は臨時職員として採用していただいた方ですが、会計年度任用職員という制度に変わりました。令和2年度においては、延べ288人の方が会計年度任用職員として勤務をしております。

現在その中で通常の正職員と同じような働き方をしている職員がいるかどうかという点については、全く同じというわけではありませんが、保育士さん等、それに近い形で働いている方はいらっしゃいます。

その方々の正職員化についてですが、会計年度任用職員はあくまでも会計年度任用職員として勤務をお願いしております。

業務については、会計年度任用職員にお願いする内容か、それとも正職員で行う内容か、勤務内容等を考慮した上で検討していきたいと思えます。

以上です。

(栗原委員)

39ページ「指定管理者制度の適正な活用」をお願いします。

令和2年度の実施内容の詳細の中で、自転車駐輪場を令和2年度から5年間、引き続きサイカパーキング株式会社が指定管理者として管理運営と記載があります。

今年に入って、私が受けた相談なのですが、その駐輪場に自転車を止めた2人の方が用事を済まして帰ってきたら、盗難に遭い、止めていた自転車がないということがあったようです。そのうちの1人の方は仕方がないので、新しく自転車を買って替えたそうです。

この件について、その指定管理会社と、蓮田市とは連絡や調整をしていると思うので、その辺の対策について、検討してほしいと思います。

以上です。

(環境経済部長)

自転車駐輪場につきましては、蓮田駅東口に2ヶ所、蓮田駅西口に1ヶ所、サイカパーキングに指定管理で運営をお願いしております。

こちらの事業者とは月1回ですが、定期的に話し合いの場を設けておりますので、今委員さんから伺いました件も含めて今後、十分注意していくように、また、そういったことがあった場合の対応についても、調整させていただきたいと思っております。

(議長)

それでは、栗原委員で質問を終わらせていただきます。

貴重なご意見を各委員さんからいただきました。

各委員の意見につきましては、十分反映をなされて、今後の実施計画の着実な実施に向けて執行部さんにはご努力を賜ればありがたいと思っております。

これで議事については終わりにしますが、市長さん、執行部さんが許すのであるならば、市長さんに申し訳ないのですが、資料5「四季かおる つながり 安心 活きるまち」でここだけは言うておきたいというのがあれば、ピックアップをしてご発言をいただければありがたいというふうに思います。

・資料5について

(中野市長)

ありがとうございます。

資料5「四季かおる つながり 安心 活きるまち」ですが、数年前から、いろいろなところにお伺いして、市政の状況を話すときに、こちらの資料を使って、講和をさせていただいております。

いくつか申し上げますと、最初に1ページご覧になっていただきたいと思いますが、やはり新型コロナウイルス感染症対策について記載がございます。冒頭申し上げましたように、75歳以上の方が11,000人、それから65歳以上の方は9,000人にクーポン券を発送しているところであります。

最初にスタートした時点では、国の方からワクチンが来るのが遅く、長期的に計画を立てるのが難しかったのですが、ようやくワクチンが届き、接種を開始しているところです。

しかし、ここへ来て、また、医療従事者は県が実施、一般の接種は、市町村がやりなさいというルールで当初は始まったのですが、ファイザー社のワクチンの割り当てが、少なくなり、逆に何割か戻してくださいという状態が来ております。この会議の後にも、その検討会があるのですが、そうした状況でございます。

ただ、いずれにしましても、市民の方々の生活がありますから、当初の予定通り接種を推進できるように、今、何とか努力して取り組んでいるところでございます。

2 ページは、蓮田駅西口行政センターについての記載がございます。おかげさまで、35年間かかってようやく完成いたしました。

14階建てで168世帯、即刻完売でした。

当初の計画のマンションは、この倍あったのですが、いろいろな事情がありまして、このようなかたちとなっております。

写真で言うと、マンション手前の白い建物の2階部分が、蓮田市が権利を取得して、行政センターを設置しているところになります。

土曜日、日曜日も営業しておりますので、将来にわたって、市民の方には、利便性も高まるのかなと思っております。

それから、次の4ページにまいりますと、東北自動車道の蓮田サービスエリア上り線の航空写真がございます。

蓮田サービスエリアは既にオープンしておりますが、この写真の一番真ん中にスマートIC整備箇所がございます。NEXCOさんの工事が始まっておりまして、来年の春頃には、ここに入口出口のゲートが完成予定です。大型車も対応となります。なおかつ、今エルビーさんのところにある東京方面の入口が、こちらに移転いたします。

この工事の見通しがつきましたら、今度は、黒浜地区内にある現在は閉鎖中の上り線サービスエリアと下り線サービスエリアを2本の橋で接続し、下り線専用のサービスエリアに改築する計画の実施となります。

5年計画としていますが、大型事業ですので、完成までにはもう少し時間かかるのではないかと考えております。

その他としまして、11ページ、12ページをご覧になっていただきたいと思えます。蓮田駅西口行政センターが完成し、人口が若干増えておりますが、やはり恒常的な人口増加策としては、この立地条件生かしたまちづくりだろうと考えております。

そのためには、子育てしやすい環境整備、保育園や学童学校等々の整備ということで、現在は、人口が減少している状況ですが、新たな保育園も整備し始めました。

蓮田ねがやど保育園が市立保育園で、その次に、民間の認定こども園しらゆりができました。3番目としては、閏戸の花星こども園。かつては保育園だったのですが、現在幼稚園と保育園と両方を運営してくれています。

12ページの方に行きますと、勤労青少年ホームの後ろに、新たに蓮田みぬま保育園を造りましたし、中央保育園、東保育園等々改修いたしました。また、とねの会はずだ保育園のような民間保育園が蓮田に進出しております。

このように、子育てしやすいまちを目指し、着々と進めているところであります。

また、15ページ、16ページをご覧ください。

市役所の南側に文部科学省に指定されました約5ヘクタールの黒浜遺跡を今、着々と整備しています。約5,500年前の縄文時代「黒浜式土器」の標式遺跡として著名な遺跡です。

まだ未買収地もありますが、来年頃、オープンする予定であります。

市役所の地続きでありますし、スマートインターチェンジがオープンいたしますので、市外、県外からも、お客さんが見えになるのではないかと期待しているところです。

最後になりますが、6ページには、高虫の工業団地について記載がございます。

蓮田市は、第4次総合振興計画まで住宅系のまちづくりだったのですが、第5次総合振興計画で初めて工業系も目指すということで、着手いたしました。業務代行業者がエム・ケー株式会社さんに決まりまして、今着々といろいろな課題解決のために、努力しているところであります。

これが完成いたしますと、ちょうど圏央道の南側、東北道と関越道に囲まれた物流の有効地となります。

地権者の皆様も、ほぼ全員が合意ということでもありますので、一気に進むと思っております。

そうしますと、税収や就労先の確保、あるいは間接的ですが、地域の活性化、そういうものに繋がっていくのではないかと考えております。

その他にもいろいろございますが、時間がございますから、資料の方を読んでいただければと思います。

少し宣伝いたしますが、高虫工業団地の業務代行業者、エム・ケー株式会社さんが、日曜日午後9時55分頃にTBSで2分間番組を持っていまして、現在は茨城県の五霞町で、エム・ケー株式会社さんが工業団地を造成し、まちづくりを行っている内容の放送をしています。4週間にわたって、4回、取り上げて放送しています。五霞町の前は神奈川県海老名市だったようです。

7月25日からは、蓮田の高虫工業団地を放送してくれます。

工業団地はまだ何もありませんから、行政センターとか、この市役所周辺とか、サービスエリアとか、いろいろな蓮田市のスポットの放送もあわせてしてくれるということでもあります。もし時間がありましたら、ご覧になっていただければと思います。

海老名市ときには、案内役が高島礼子さんでした。

蓮田の場合は、私は存じ上げなかったのですが、元AKB48の島崎遥華さんが案内してくれます。

蓮田市も、全部で4回放送してくれる予定です。

民間事業者が蓮田を取り上げてくれるということで、その前の番組はなかなか人気のある番組のようですので、少しPR、シティセールスに繋がるかなと思っております。

ちょっと余談申し上げました。以上でございます。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。

市長さんのプロジェクトが着々と完了したり、また、進行したりということで、流石と感じております。

それでは、コロナ禍でございますので、スピーディーに行おうと思っておりましたけれども、時間が1時間50分程経過してしまいました。

ただ、私事で恐縮でございますけれども、7月16日で今回の行政改革推進委員会の任期が満了なわけでございます。2年間、各委員のご協力により、本委員会を無事終わることができました。私としても、至らないところが多々あったと思っておりますけれども、各委員さんの力で、無事遂行できたということで、大変感謝を申し上げ、私の挨拶をさせていただきます。本当にありがとうございました。

それでは、事務局の方に、進行をお譲りしたいというふうに思います。

6 その他

(調整幹)

ありがとうございます。

ここで、その他といたしまして、事務局からご連絡がございます。政策調整課長の塚本から申し上げます。

(政策調整課長)

2点ございます。

1点目は会議録についてです。「蓮田市附属機関等の会議の公開に関する要綱」により、会議録を作成しホームページに公開することとなりますが、作成後、委員の皆様にご確認をいただき、その後に公開ということになりますので、よろしく願いいたします。

2点目は、委員報酬についてです。

本日の会議にご出席いただきました委員の皆様には、市から委員報酬をお支払いいたします。事前にご指定いただきました口座に振込みをさせていただきますので、よろしく願いいたします。

以上です。

7 閉会

(調整幹)

それでは、閉会にあたり、清水副委員長よりご挨拶をいただきたいと存じますのでよろしくお願いします。

(清水副委員長)

本日はお忙しい中、活発なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。是非この場の意見をご参考にしていただければと思っておりますので、執行部の方々によろしくお願いをしたいというふうに思っております。それでは、本日はこれにて終了とさせていただきます。

ありがとうございました。